

令和5年度 江戸川区立大杉東小学校 学校関係者評価 最終評価報告書

学校教育目標	よりよい目標を実現する子 ○考える子 ○やさしい子 ○やりぬく子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	「夢のある学校」づくり ～一人一人の子供を主語にする学校教育の実現～ ○「挨拶」「笑顔」「感謝」がしっかりとできる児童 ○課題の解決に向けて、主体的かつ探究的に学ぶ児童 ○信頼に応える教師 ○授業で勝負する教師 ○「チーム大杉東」を高める教師 ○人生を充実させる教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>○仮設校舎での不利益感を感じさせないよう、日々の教育活動および行事等を改善・工夫し、落ち着いた学校生活を実現させた。 ○体力の維持・向上においては、週時程の変更やプレイルームの設置、近隣中学校の協力等により、運動する時間や場所の確保に努めた結果、体力を維持することができた。 <課題>●学力においては、差は縮めたものの、依然として都や全国平均を下回った。 ●「指示待ち」の児童が多く見られる。教師主導型から脱却し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善が必至である。 ●教員の「働き方改革」のさらなる推進。		

教育委員会重点課題	<取組項目>・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
				取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基礎となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対する学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・「学力向上に向けたアクションプラン」の実施 ・「考える視点」の提示、「思考ツール」の活用 ・一人一台端末の効果的な活用 ・高学年2学年4学級における教科担任制の実施 ・放課後補習教室の有効活用 ・「江戸川っ子study week!」の実施	・児童自己評価「学習に関する項目」の肯定的評価平均値90%以上 ・一人一台端末を活用した授業1日1時間以上 ・学力調査全国平均-5%以内 ・各教科ワークシート平均正答率80%以上 ・算数科診断テスト平均正答率各学年80%以上	B	C	・「学力向上に向けたアクションプラン」に基づき授業改善やICTの効果的な活用を図ってきたが、児童による学習に関する項目の肯定的評価は80%に留まった。 ・算数科における診断テストの平均正答率も80%を達成できなかった。	B	放課後学習教室の取組も含めて、学力の向上を期待する。	・学力向上に向けたアクションプランの見直し及び確実な実践。教員の授業改善に対する意識の向上を図る。 ・江戸川区算数授業スタンダードを基にした各教科の授業改善を図る。
	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・「探究的な学習」を実践するために、区立図書館主催「調べる学習コンクール」参加 ・「江戸川っ子 読書科コンクール」の実施 ・「読書科ノート」を活用した探究的な学習の実践 ・保護者ボランティアによる環境整備と読み聞かせ	・「調べる学習コンクール」全児童参加 ・「読書科コンクール」代表作品出品 ・児童自己評価「探究的な学習」に関する項目の肯定的評価90%以上 ・「読書科ノート」を活用した探究的な学習を各学年2回以上 ・家庭での読書60%以上	C	C	・読書科ノートを活用した探究的な学習の充実を図ることができなかった。 ・読書に関するアンケート「本を使って調べることが好きである」50%、「家庭で読書をしている」56%に留まった。	C	次年度の新校舎に合わせて学校図書館がリニューアルされることもあり、本好きの児童が増えてほしい。	・校内における調べる学習コンクールの実施。 ・読書科ノートを活用した探究的な学習の充実。
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・運動時間や運動場所の確保 ・自らの体力や健康に關心をもち、高めようとする態度を育成する取組の充実	・体力向上につながるプレイルームの活用 ・場所を工夫した運動遊びの実施 ・食育に関する指導の全学級実施	・「体を動かすことが好き」な児童90%以上 ・体力合計点における前年度平均値の維持 ・全学級への食育指導各学期1回	A	A	・児童によるアンケート「体を動かして遊ぶことが好きである」90%を達成した。 ・プレイルームをはじめ活動場所を工夫したことにより、児童の体力の維持向上を図ることができた。	A	次年度はプールが新しくなるので、夏季休業中の水泳教室も実施して体力の向上に励んでほしい。	・夏季水泳教室を通して体力、泳力の向上を図る。 ・体育集会を月に1回実施する。 ・外部人材を活用し、日常的な運動を活性化させる。
	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・メンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・「個案」の活用 ・支援委員会の充実 ・エンカレッジルームの意図的・計画的活用 ・特別支援教育研修会の実施	・「個案」を用いた生活指導全体会学期1回 ・ユニバーサルデザインに基づいた環境整備年3回 ・巡回指導教員による研修会学期1回以上	B	B	・巡回指導教員による研修や月1回の特別支援だよりの発行により、教職員の特別支援教育に対する理解が深まった。 ・特別支援教室の公開や児童に対する理解教育を実施した。	B	引き続きユニバーサルデザインの視点を取り入れた支援や指導をしていきたい。	・巡回教員との連携を強化し、個に応じた指導及び環境を充実させる。
子どもたちの健全育成	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hyspaer-QUの活用	・「挨拶」「笑顔」「感謝」の実践 ・なかよし班活動の充実 ・「人権の花運動」の実施 ・hyspaer-QUの実施・活用	・自分から挨拶できる児童80%以上 ・なかよし班活動の充実 ・いじめ早期解決100% ・完全不登校児童ゼロ ・QU学級満足群80%以上	A	A	・児童による自主的な挨拶の呼びかけやなかよし班活動の充実により、完全不登校ゼロやいじめの早期解決を図ることができた。	A	次年度も引き続き完全不登校ゼロやいじめの早期解決を図ってほしい。	・次年度も「人権の花運動」の実施。グリーンプラン推進校の指定を受け、植栽活動や環境学習（グリーンカーテン等）を充実させる。
	<自校(園)の取組の積極的な発信> ・学校(園)ホームページの充実等 ・学校(園)公開の実施・充実	・学校ホームページの更新 ・年4回の学校公開の実施 ・「運動会」「竹馬運動会」「学習発表会」の実施	・学校ホームページ毎日更新 ・運動会の保護者参観率平均80%以上	B	B	・学校ホームページを毎日更新し、日々の教育活動の発信を行った。 ・施設の関係で、学校公開においては保護者の参観を制限させざる負えなかったが、屋外における行事は多くの参観があった。	B	次年度は新校舎になるので、多くの地域、保護者の方々に参観いただける授業参観や学校行事にしてほしい。	・新校舎になるので学校公開や各行事の実施方法を工夫し、多くの方に参観していただけるようにしてほしい。
地域に広く開かれた学校(園)の実現	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・学校評議員会の実施 ・学校公開、各種行事、年度末アンケートの実施	・学校評議員による各項目評価B以上 ・年度末アンケート肯定的評価平均値85%以上	B	B	・年度末アンケート(児童・保護者)1月に実施した。今年度は、紙面ではなくスマートフォンやタブレットを活用したが、保護者からの回答率は30%に留まった。各項目の肯定的な評価は85%以上達成した。	B	さらに保護者アンケートの肯定的な評価が高まるように期待している。	・保護者からのアンケートの回答率が高まるように工夫をしている。
	<開校70周年における取組> ・関連する行事や教育活動の実施	・周年記念イベントの実施 ・児童による周年委員会の設置	・学校の歴史や地域のみさを生かした教育活動月1回 ・児童の思いや願いを実現する活動学期2回以上	A	A	○周年記念イベント(航空写真 記念誌、たて刺しによる制作)を行い児童の主体性を大切に行うことができた。 ○開校70周年記念式典を盛りよく実施することができた。	A	盛大に開校70周年の記念式典が実施されていた。各周年記念のイベントの取組も良かった。	・新校舎における様々な教育活動の充実を図る。